

イラスト：渡辺 崇(日本画家/文化の森学習係)



ナゴヤダルマガエル (アカガエル科)

近縁のトノサマガエルに似ていますが、やや小型のずんぐりとした体型で、足も短いことからこの名前がつけました。繁殖が終わるとトノサマガエルは水辺から離れるのに対して、ナゴヤダルマガエルは水辺から離れないのが特徴です。そのため、毎年続けて稲作が行われる良好な水田の存在が生息には不可欠です。

生息地の開発や都市化だけでなく、水田の圃場^{ほじょう}整備や乾田化、転作、耕作放棄による乾燥化などによっても、全国的に数を減らしているカエルの一種です。
(美濃加茂自然史研究会^{たかぎまさき} 高木雅紀)

